

2024年度以降の活動方針



矢作川・豊川CNプロジェクト

2024年度以降の活動方針

①再生可能エネルギー分科会

- ・水力・水熱エネルギーを最大限を引き出す。
- ・太陽光発電施設の設置に当たっては、蓄電池や現地での消費などを合わせて検討。
- ・伐木、刈草の循環利用を踏まえ、バイオマスとしての活用に向けた検討を推進。
- ・取組にあたっては、地産地消、レジリエンスの向上を意識。

②省エネルギー分科会

- ・水道広域化は具体化を推進。配水の自然流下化に向けた検討の場の構築を目指す。
- ・汚水処理の広域化・共同化は、「広域化・共同化計画」に基づき着実に推進。
- ・水力・水熱エネルギーを最大限を引き出す。（再掲）

③CO₂吸収量の維持・拡大分科会

- ・森林クレジットの創出・販売に向けた取組を開始するとともに、県内の公有林、私有林への展開を促進。

④新技術・新システム分科会

- ・西三河地域の上下水道の一本化に向けた議論を推進。
- ・低炭素コンクリート製品の普及を促進し、CO₂固定コンクリートの技術開発・実用化を推進。
- ・民間の技術開発・実用化の支援を開始。
- ・引き続き、分野横断的な取組を推進するための役割を担う。